

なぜ、お金が減るかもしれないのに 投資する必要があるの？

日興アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト 神山 直樹

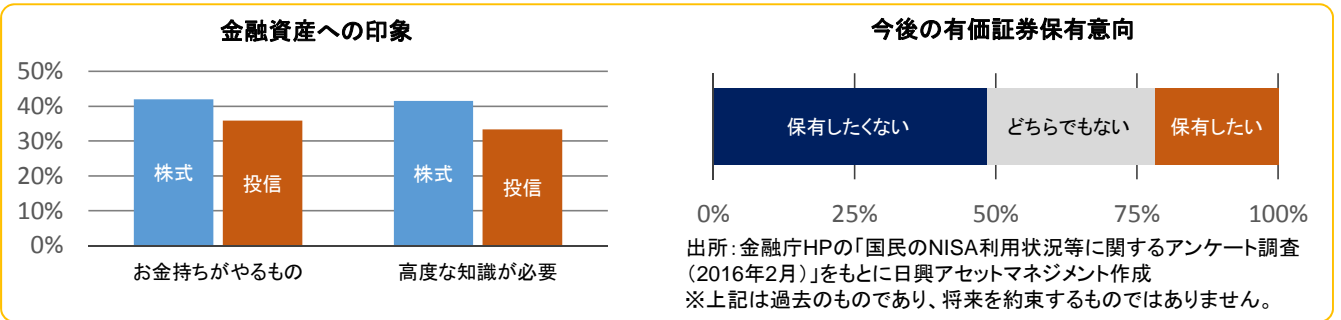


投資ってなんだ!?と聞かれば、引退後に『潤いのある暮らし』を送りたいから、と答えます。なぜなら、“普通に生きる”ことの中に、“投資”が組み込まれていることが正しいと思うからです。でも、今の平均的日本人の普通の生活には、投資をすること、いわゆる引退後に『潤いのある暮らし』を送ることが、脇の方に追いやられているようなのです。

■ 投資は「お金を持っている人」がやるものじゃないの？

投資は「お金がないから」「お金持ちじゃないから」やらない、とよく耳にします。でも、お金持ちになってから投資するのではなく、お金持ちになるため、というよりも、ご自身が齢を取るなどの理由で働けなくなる引退後に『潤いのある暮らし』を目指すために投資する、ととらえた方が適切ではないでしょうか。

資金に余裕がない、知識がないから投資をやらないということは、もともとやらなくて良いという意味で「趣味」として選ぶ人だけが投資をするもの、と思われているのかもしれませんが。引退後の『潤いのある暮らし』は誰にでもあったほうが良いと思うのに・・・。



■ 「お金が減るのはいや」「リスクを取りたくない」、でもリスクを取ったほうが良い理由

誰しも、減っては困る、リスクが取れない、といったお金を貯蓄されていると思います。例えば、食費や生命保険などへの加入、子どもの学費といった必ず必要なお金は、普通預金などに預けられているでしょう。言ってみれば、将来の生活費や医療費などは、すでに備えつつあるのだと思います。そして、この備えを越えたお金（少額からでもOK）に、“潤い”のために働いてもらうのです。

投資は、引退後の『潤いのある暮らし』、直感的には、歳を取ってから普段とは少し違ったことができる生活をするを目的に、30、40、50歳代から何をしておこうか、と考えていきます。そのための元手（お金）を投資で作っていきたいのです。この部分は（少し乱暴かもしれませんが）「減っても最悪の事態には至らない」ので、リスクを取っても良いのではないのでしょうか。

投資のリスクとは、世界経済や事業の成長リスク（良くなったり、悪くなったり）を負うことです。世界経済が成長していくと信じるならば、“潤い”部分のリターンを獲得を世界中のビジネスの成功に任せていけるのです。これが、「リスクを取ったほうが良い」と考える理由なのです。

●当資料は、日興アセットマネジメントが投資についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。●投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。●当資料の図表等はすべて過去のものであり、将来の市況環境の変動等を約束するものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また記載内容の正確性を保証するものではありません。